

2019.12

冬

広島県 医療勤務環境改善支援センター

News Letter



Q. 管理職や中堅スタッフの離職で職場が疲弊しています。 どうしたら良いですか？

職場で管理職になったが、経営層とスタッフのあいだにはさまれて悩んで辞めたり、師長や主任への昇進を打診すると嫌がって辞めてしまったりするといったケースは、少なくありません。

いろいろな原因があるため対策は多様となりますが、管理職が離職しないようにストレスを軽減し、職場環境を改善していくことが重要です。

ストレスを軽減する対策としては、実際の業務量を削減する対策や、本人の希望により降任することができる制度や管理職を複数にして負担を軽減するなど精神的に支える対策、またスムーズに組織運営をするための技術を向上させる対策などが考えられます。



● 業務マネジメント

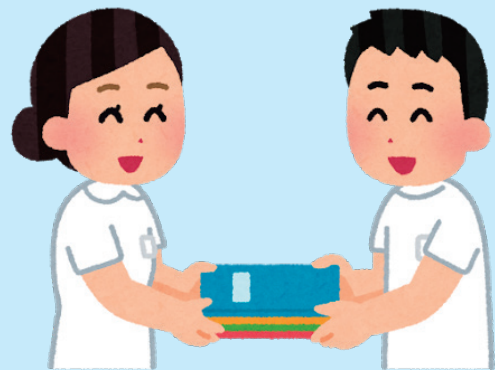
- ・業務の整理、タスクシフティング
- ・勤務表作成ソフトなどICT活用、補助職の強化
- ・余裕のある人員配置

❄️ ストレス軽減

- ・希望降任制
- ・複数管理職
- ・上司のサポート

● スキル向上

- ・マネジメント研修
- ・コミュニケーション力向上（師長、組織など）



☒ 勤務環境改善策『ストレス軽減』

いきサポ <https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>
などを参考に作成

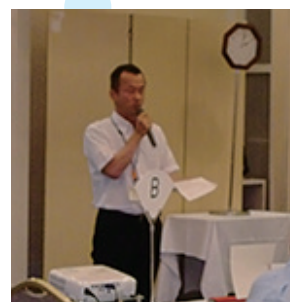
最近の活動

「第5回医療勤務環境セミナー」の開催

令和元年9月12日(2019年)、アークホテル広島にて「第5回医療勤務環境セミナー」(主催:広島県)が開催され、40施設から57名が参加されました。

セミナーでは、広島県健康福祉局医務課 西丸幸治課長の挨拶の後、センターより「勤改センターの上手な活用による勤務環境改善」について講演しました。続いて、広島労働局 三時氏の「働き方改革関連法のポイント」では、これから医師の働き方改革で問題となるポイントについて、ガイドラインも参照しながら説明がありました。

最後に、市立大津市民病院 院長補佐監の徳永眞一氏より「医師を含めた全



挨拶する
広島県健康福祉局医務課
西丸幸治 課長



セミナー風景:壇上は、徳永 院長補佐監

ての職員のための時間外労働の管理 ～選ばれる病院になるために～」と題して講演があり、その中で、タイムレコーダー活用について医師へ継続的に周知したこと、時間外労働の状況を3ヶ月ごとに診療科単位でフィードバックしながら改善していったこと、研修医の日直に週の代休を与えるシフト制勤務などの制度について研修医や診療部長などに丁寧に説明していったこと、それらの活動により後期研修医も倍増したこと等が紹介されました。

お知らせ

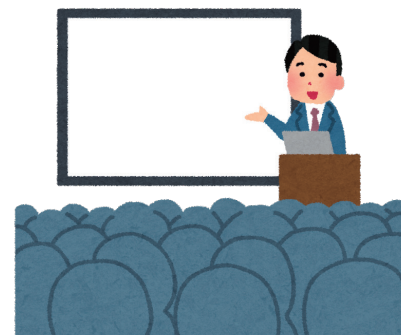
セミナーのご案内

- 令和2年1月24日14～16時、広島県医師会館ホールにて、令和元年度厚生労働省委託事業「医療法人に関する制度等についてのセミナー(参加無料、全国で21回開催)」の開催が予定されています。内容は、働き方改革や持分なし医療法人など。

お問い合わせ先 株式会社メディシュアランス tel.06-6232-8182

- 令和2年2月14日13～15時、TKP広島本通駅前カンファレンスセンターにて、病院長等を対象に働き方改革への対応などを中心にした「トップマネジメント研修(参加無料、全国で31回開催)」の開催が予定されています。

お問い合わせ先 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
医療機関の勤務環境マネジメント改革支援推進事業 事務局
tel.092-751-1321(平日10:00～17:00)
担当: 藺田(ソダ)、對馬(ツシマ)



お問い合わせ

広島県 医療勤務環境改善支援センター 広島県健康福祉局医務課内

TEL:082-513-3056

受付時間:(平日)10時～12時、13時～16時
(土日祝日、年末年始を除く)